

ゼオンケミカルズ米沢

会社紹介

【事業内容】

香料・医農薬中間体の製造販売、RIM 配合液の製造・販売

1996 年設立。ファインケミカル製品の生産会社としてスタートし、1997 年には合成香料、1998 年には RIM 配合液の生産を開始しました。

【人員数】

2021 年 3 月末人員数：34 名（男性 32 名、女性 2 名）

2020 年度採用実績：1 名（男性 1 名、女性 0 名）



ゼオンケミカルズ米沢

製品イメージ



合成香料を使用した香水

RIM 配合液を使用した成形品

会社方針（トップメッセージ）

当社はゼオングループ唯一の北日本の生産拠点です。2021 年度は、新中期経営計画のスタート年であること、そして生産会社としての責務を果たすために安全・安定生産体制の維持改善が最重要課題であることから、「無事故・無災害を継続し 2030 年を見据えた新中計初年度目標を達成する」を 2021 年度方針として掲げました。また、当社の「2030 年のありたい姿」と「新中計重点課題」を鑑み、以下の重点課題を設定し、全社員で取り組んでいます。

1. 無事故・無災害を達成し、社員の健康づくりを支援する
2. 3 ム（ムダ・ムラ・ムリ）を排除し、真の業務効率の向上を目指す
3. 顧客目線に立った品質改善に取り組む
4. 全員の知恵を結集し、問題解決力の向上を目指す
5. 研究受託業務を完遂し、事業部成長戦略に貢献する
6. 社会の期待と社員の意欲に応える活動を推進する



代表取締役社長 相村 義昭

安全への取り組み

【方針】

基本にこだわり安定・安全で快適な職場づくりを推進する

【具体的な取り組み】

体感教育による感性 UP

・製造に用いるアルキルアルミ（危険物第 3 類）の燃焼・爆発体験を、消防署および薬品メーカーの協力により安全に危険体験する活動を実施しています。



体感教育

体感教育による感受性の UP

・VR（仮想現実）による聴覚・視覚・触覚再現により、危険な事象を安全かつ効果的に体感するシステムを導入し、疑似体験することにより危険体感（感受性向上）を行っています。



環境負荷削減の取り組み

【方針】

ゼロエミッションを継続し、環境負荷低減活動を推進する

【具体的な取り組み】

1. ゼロエミッションの継続

- ・資源の再生利用
- ・サーマルサイクルの実施

2. CO₂ 排出量の削減

- ・消費電力削減と太陽光発電システム導入検討

3. 環境関連データ（「0」は 0.5 未満、「0.0」は 0.05 未満を示す）

ゼオンケミカルズ米沢（株）		2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	4	5	6	5	6
	使用量（トン）	1,576	4,544	2,787	3,880	2,474
	排出量（トン）	0.6	1.5	1.0	1.4	0.5
産業廃棄物	減容前発生量（トン）	180	232	284	215	329
	埋立処分量（トン）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
水資源（工業用水+地下水+上水道）使用量（千 m ³ ）		14	18	16	14	16
CO ₂ 排出量（トン）		1,716	2,089	1,927	1,804	1,837
エネルギー使用量（原油換算、kL）		720	876	864	792	807
消費電力量（千 kWh）		1,820	2,001	1,800	1,758	1,787

※生産量の増加に伴い、2017 年度以降 CO₂ 排出量、エネルギー使用量ともに増加しています。

社員とともに

当社では、高い目標へ挑戦する人材の育成をめざし、日常的な改善活動に力点を置いた教育の実施に取り組んでいます。

【具体的な取り組み】

1. ZSサークル活動活性化

QC サークルのことをゼオングループでは ZSサークルと呼んでいます。社内での発表会を毎年開催し、代表サークルをゼオングループ全体の発表会に派遣することで、社員の改善に対する意識づけと問題解決力のスキルアップを図っています。

2. 社内表彰制度「なせば成る賞」

「なせば成る賞」は、改善・仕組みづくり、安全・5S、風土改革などで成果をあげた人を対象とした表彰制度です。2018 年度は 6 名、2019 年度は 5 名、2020 年度は 4 名が受賞しました。「なせば成る賞」は江戸時代中期に米沢藩主として改革に取り組んだ上杉鷹山公の名言「なせば成る なさねば成らぬ 何事も 成らぬは人の なさぬなりけり」にあやかりました。

地域との共生

当社では、社会の期待に応える活動として地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

【具体的な取り組み】

地域のイベントへの参加

コロナ禍ということもあり、例年参加していた子供向け化学実験教室や上杉雪灯籠まつりは中止となつてしまいました。しかし、市内高校での職業体験会に参加し、フラスコやビーカーをプラントに見立て、ハーブを使った蒸留実験を通じて、化学プラントでの仕事を疑似体験してもらいました。

